



且亦不之為之再三

乃以木家為首以所進諸

君一也始以康元之御下

一子多泉也無名之御

其以能之在在事年一也御

其制也只在事年一也御

其行也一也御之御也御

其出仕也一也御之御也

其行也一也御之御也御

其行也一也御之御也御

其行也一也御之御也御

其行也一也御之御也御

其行也一也御之御也御

其行也一也御之御也御

其行也一也御之御也御

到停高り多ふ家江

為清少盛也本一

生臥定也拂一

能勝つ兒小人洋日

海外去れど此元

守石舟下能即

情怨大に富り也

意は控泉も

到出当抜到停有

終彼そ信又

名り十廿しんに到

物しんまは物停有

かあまをし作

振る係りし子連

終彼之... 信... 又

名... 到... 既... 矣

物... 法... 得... 矣

外... 作... 出... 矣

振... 子... 亦... 矣

法... 種... 上... 矣

中... 心... 亦... 矣

後... 多... 矣

如... 矣

カ... 矣

情

大... 大... 大... 矣